チーム星峯西小学校で取り組む EdTech(エドテック)とは？

～令和3年度の取組(総括)～

令和4年3月10日(木)

鹿児島市立星峯西小学校

校長　谷口源太郎

「EdTech（エドテック）」とは何か？今年度の取組

あまり馴染みのない言葉かもしれませんが、「EdTech（エドテック）」とは、教育・学習領域にIT技術を導入することを指していて、Education（エデュケーション：教育）とTechnology（テクノロジー：工学）を組み合わせた造語です。日本語に直訳すれば「教育工学」という意味になります。このEdTechには、大きく分けて２つの分野があります。一つはA児童生徒の学びに直接的に有効なもの、これがいわゆる「教育の情報化」になります。もう一つが、B学び以外の効率化を図るものに分けることができます。

A　子どもたちの学びに直接的に有効な取組

① テレビ会議システム（Teams）を活用した校内行事（始業式、終業式、児童総会等）
② テレビ会議システム（Teams）を活用した遠隔授業（トヨタ九州宮田工場のリモート社会科見学）
③ テレビ会議システム（Teams）を活用したオンライン授業（４，５，６年全クラス）
④ 学習ソフト（ロイロノート）を活用した日常の授業実践
⑤ デジタル教材（タブレットドリル）を活用した学力補充指導（朝のドリル学習、家庭学習）

B　学び以外の効率化を図るコミュニケーションツールとしての取組

① YouTubeオンライン配信（卒業式、宿泊学習保護者説明会、運動会）
② 学校だより、PTAだより等のペーパレス化とネット配信（学校HP、メール配信）
③ Googleフォームを活用した各種アンケート調査（学校評価、家庭環境に係る各種調査等）
④ デジタル通信システムを活用したメールでの欠席・遅刻届

学校のデジタル化　令和3年度に行ったこと一覧

大別	機能分類	概要
フロント系（直接的に生徒の学びに有効的なもの）	学習管理（LMS）	教員や生徒間で学習データを共有・管理・分析することで、学びの効率化を図るもの
	学習支援コンテンツ	授業を円滑に進める、または個々の生徒の知識・理解度を深めるために補助的に導入される教育ツール（オンライン学習、共同学習、ドリル教材、AI教材、プログラミング教材等）
	発展的な学び	特定の教科の学びにとどまらない発展的な学びを促すもの（STEAM化された学び）
バックヤード系（学び以外の効率化を図るもの）	校務支援ツール	教職員の業務負担軽減や校務の統一化・標準化・業務改善など、学校等内の諸業務を効率化するもの
	コミュニケーションツール	学校等と生徒・保護者間で掲示板やチャット・SNS等での連絡コミュニケーションツール（教育現場向けに開発されたものまたは本補助金で対象となっている導入先教育機関へ導入実績を有するものに限る）

A　児童の学びに直接的に有効な取組

①テレビ会議システムTEAMSによる校内（始業式、終業式、児童総会）行事
②　〃　　校外（トヨタ九州宮田工場社会科見学）と繋いだリモート授業
③学校と家庭を繋いだオンライン授業（4,5,6年全クラス）
④タブレット端末（ロイロノート）を活用した研究授業（6年国語科、社会科）
⑤デジタルドリルの試行的活用（実技研修）

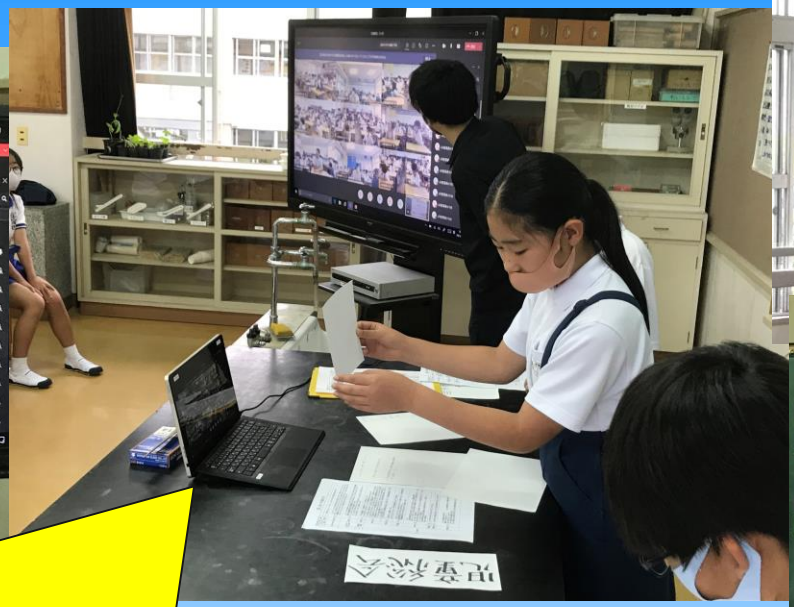
B　学び以外の効率化を図る取組

⑥YOUTUBE配信（R2卒業式、宿泊学習保護者説明会、運動会）
⑦学校だより、PTAだより等のペーパーレス化（学校HP掲載、メール配信）
⑧GOOGLEフォームによる学校評価、各種アンケート実施、集計・集約等
⑨デジタル通信システムを活用したメールでの欠席・遅刻届システム

A　子どもたちの学びに直接的に有効な取組
①テレビ会議システム（Teams）を活用した校内行事

【教育の情報化3】本校初！テレビ会議システムでの児童総会を実施しました

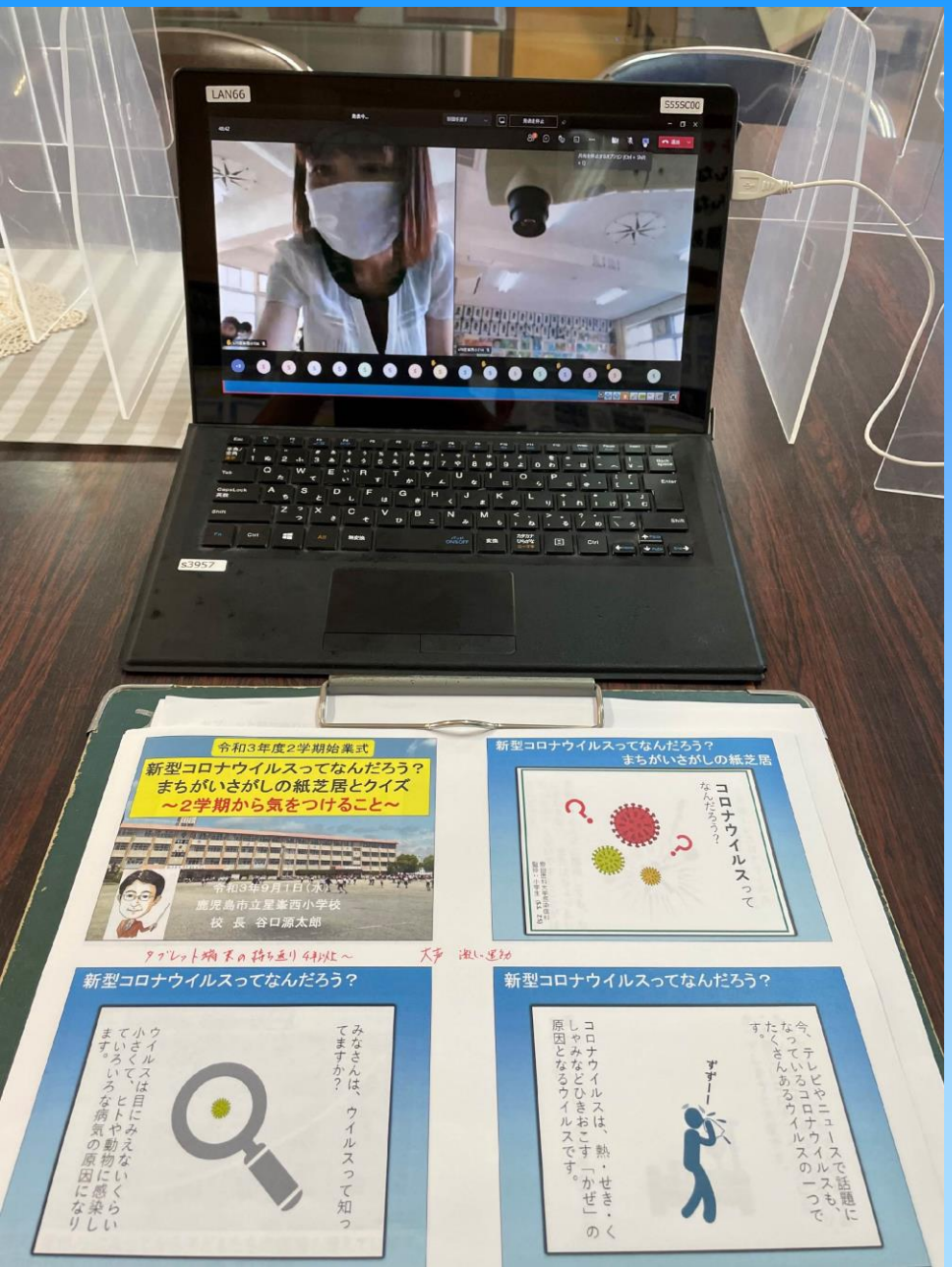
2021年06月03日



6月3日（木）3校時に4年～6年生を対象にした児童総会を実施しました。
例年は、体育館に集合して児童総会を開催していましたが、3密を避けるために各教室9クラスと理科室をテレビ会議システムで結びながら話し合いが進められました。このテレビ会議システムは、新たな教育活動の可能性を秘めており、世界中の人と人とのコミュニケーションの可能性を広げていくものとして期待されています。今後、学校の様々な場面で積極的に活用していく予定です。
学校内から学校外へと交流の範囲を広げていきたいと考えています。

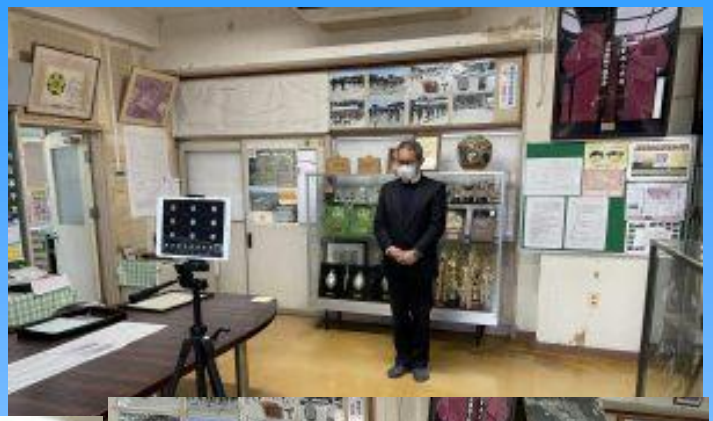
本校初のオンライン始業式にチャレンジ！

2021年09月1日



【学校行事】令和3年度2学期の終業式、表彰式等をしました

2021年12月24日



　12月24日（金）はクリスマス・イブで、2学期の終業式の日です。
始業式と同様にテレビ会議システム（Teams）を活用してのオンライン終業式を校長室で行いました。終業式では1年2組の福永伊織さんが2学期頑張ったことと3学期の目標をしっかり覚えて発表してくれました。とても立派に発表でした。

【児童会活動】テレビ会議システムでの児童総会を開きました

2022年02月09日

今回のテーマは来年度の児童会のスローガンを話し合うことでした。前回と同様にテレビ会議システム（Teams）を活用しての児童総会でした。子どもたちは、校内でこのデジタル会議システムを日常的に使って、儀式的行事やリモート授業などを行っているので緊張することなくスムーズに話し合い活動を進めていました。

A　子どもたちの学びに直接的に有効な取組
②テレビ会議システム（Teams）を活用した遠隔（リモート）授業

【オンライン授業】5年生がリモートによる社会科見学をしました

2021年11月13日

11月12日（金）1、2、6校時に5年生の各クラスが「トヨタ自動車九州宮田工場」とオンラインのテレビ会議システムを活用してリモートによる社会科見学を行いました。

6年生が「スマホ・ケータイ安全教室」のオンライン授業を行いました

2022年02月24日

２月24日（木）５校時に6年生3クラスが一斉に「NTTドコモ九州」とオンラインのテレビ会議システムを活用してリモートによる「スマホ・ケータイ安全教室」を行いました。

A　子どもたちの学びに直接的に有効な取組
③テレビ会議システム（Teams）を活用したオンライン授業

本校におけるオンライン授業実践等（学年チーム）

①9/22(水)4年生（104名対象）リアルタイム型【理科】反転授業

単元名『月や星の見え方』 (Microsoft teams+ロイロノート使用)

②9/29(水)5年生（121名対象）リアルタイム型【理科】反転授業

単元名『台風と天気の変化』(Microsoft teams+ロイロノート使用)

②´9/22(水)※5年集団宿泊学習保護者説明会（動画配信）

コロナ禍のため2回延期の末、別途動画を作成して配信するオンディマンド型で実施。ライブ配信にすると見られない人が出るから避けた。

→オンディマンド型授業、各種行事説明会、PTA活動等にも活用

③9/30(木)6年生【109名対象】リアルタイム型【図工科】反転授業

単元名『ゆらゆら、どきどき』(Microsoft teams+ロイロノート使用)

国社算理4教科以外の技能教科で実践→家庭科、音楽科、体育科等へも活用

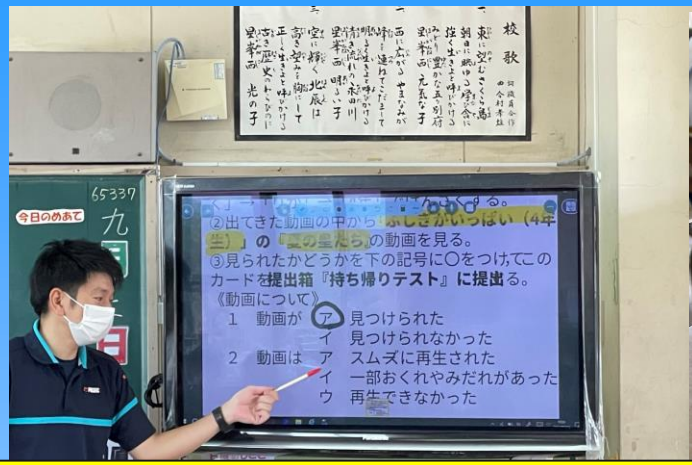
【学校全体にタブレット端末を活用したオンライン授業等を波及させるために】

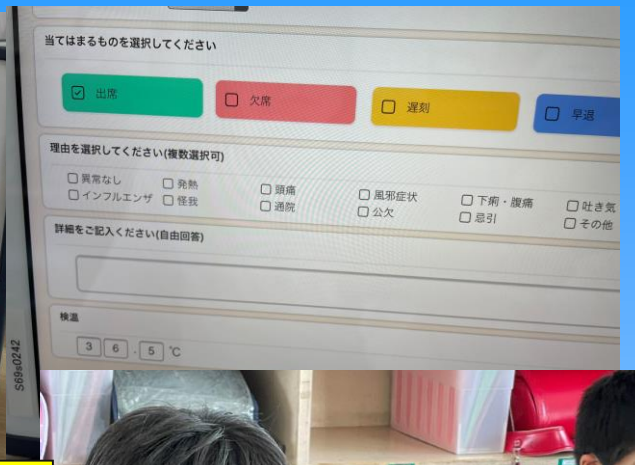
①学年チームで主体的に創意工夫を生かしたオンライン授業を企画立案、実践

②全職員で授業参観をして情報を共有

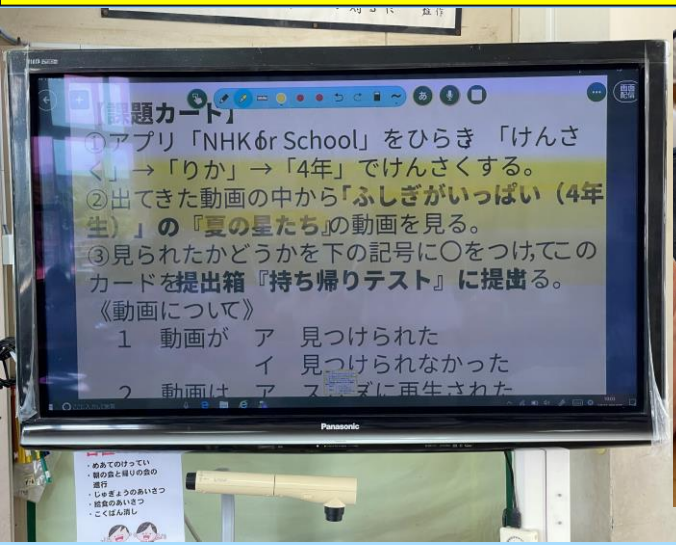
③担任一人でオンライン授業を企画・立案して実践

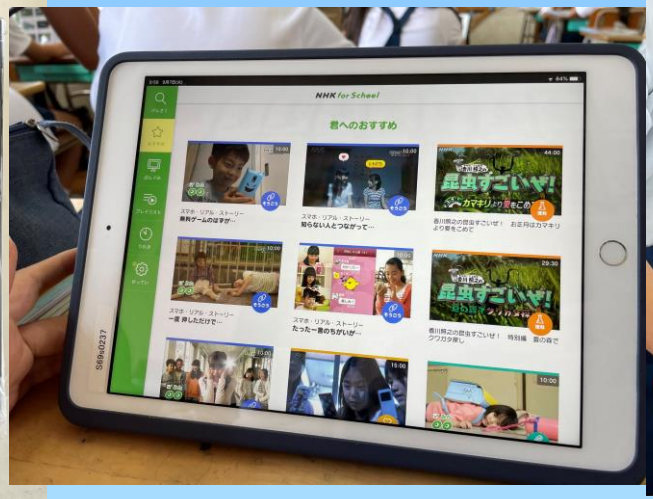
９月７日（火）から4年生以上全児童（334名対象）でタブレット端末の持ち帰り開始　2021年09月07日





①タブレット端末を持ち帰り、学校と家庭をネット接続をする。
②学校からの2つの指示（出欠カードを記入、NHK　for Schoolの視聴）をタブレットで実行して学校に回答を返信する。





4年部（104名対象）リアルタイム型オンライン授業

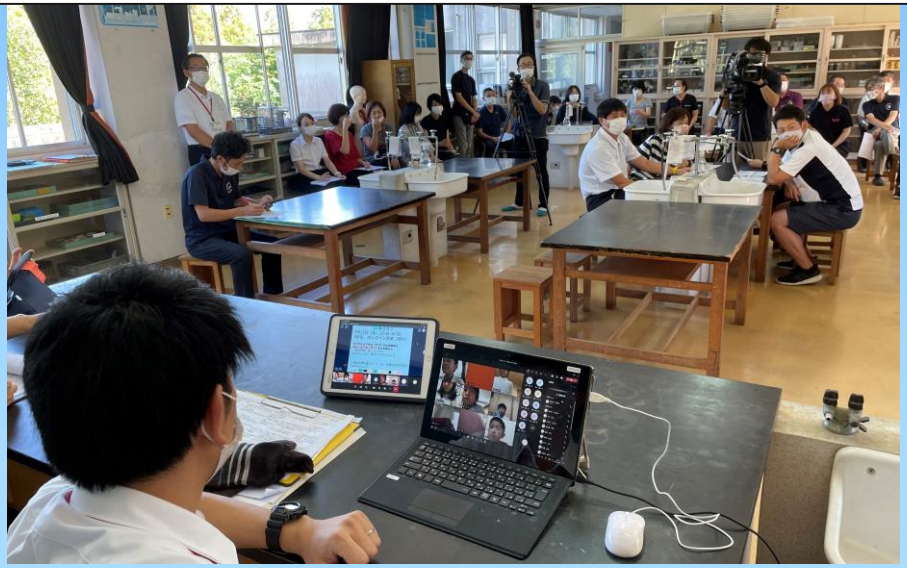
理科「月や星の見え方」反転授業の実践

2021年09月22日

①9/22(水)4年生:104名対象、リアルタイム型 理科の反転授業

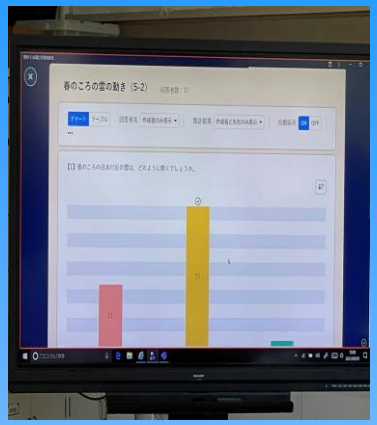
単元名『月や星の見え方』 (Microsoft teams+ロイロノート使用)

※【検証】学年チームによるオンライン反転授業の基本的な学習過程、フリーズ等の対処策、子どもが予想した回答を教師へ返信。結果が自動集約され、グラフ化されて提示（学習管理システムLMSの活用）



5年部（121名対象）リアルタイム型オンライン授業

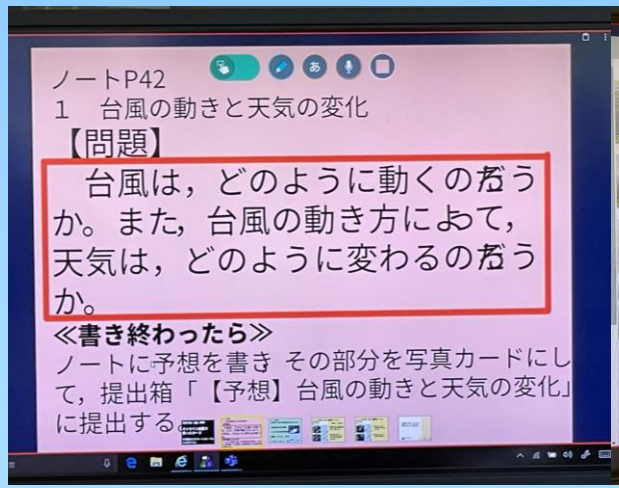
理科「台風と天気の変化」 反転授業の実践　　2021年09月29日

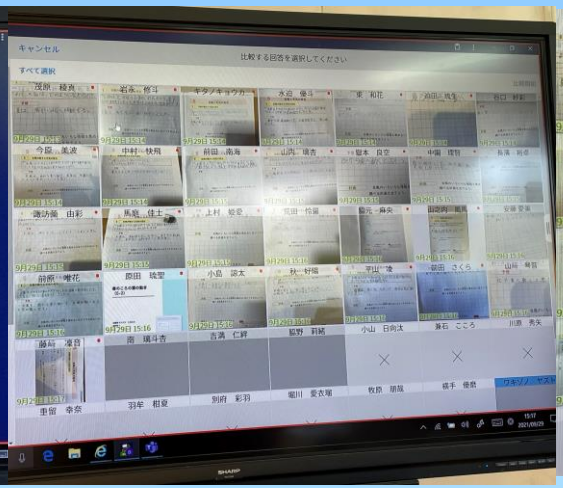


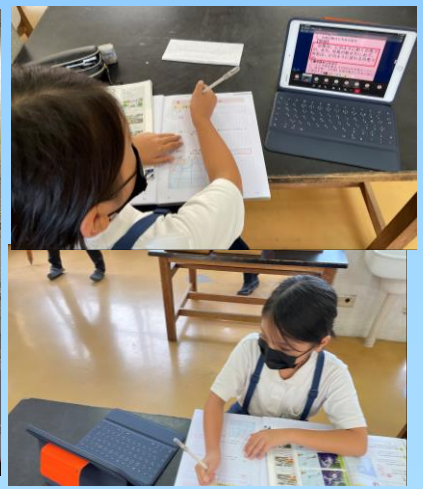
②9/29(水)5年生:121名対象、リアルタイム型 理科の反転授業

単元名『台風と天気の変化』(Microsoft teams+ロイロノート使用)

※【検証】動画提示、ノートを写真で撮って返信、自己評価による振り返りの場等を検証

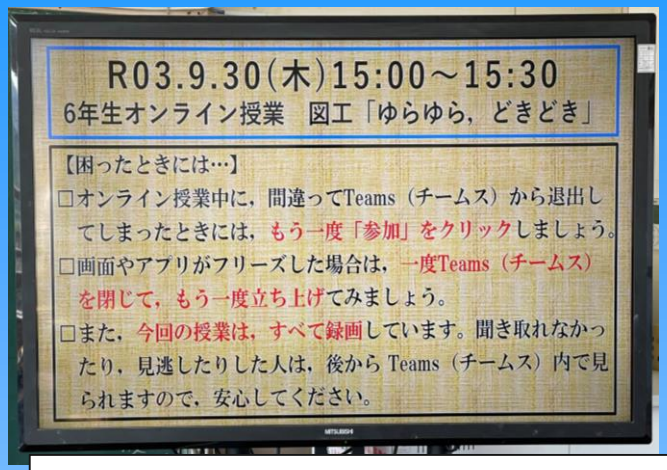


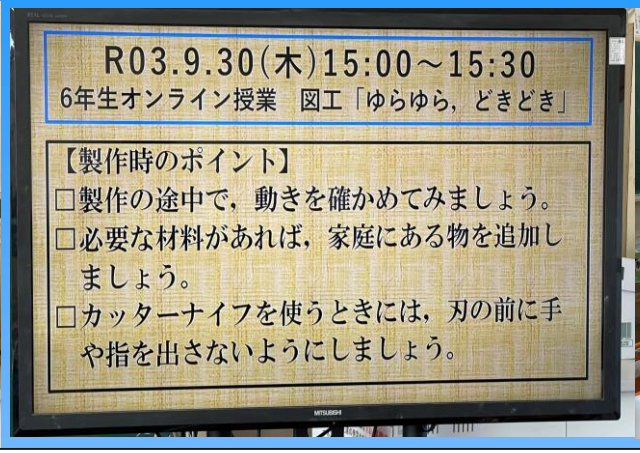




6年部（109名対象）リアルタイム型オンライン授業

図画工作科「ゆらゆら　どきどき」 反転授業の実践　2021年09月30日

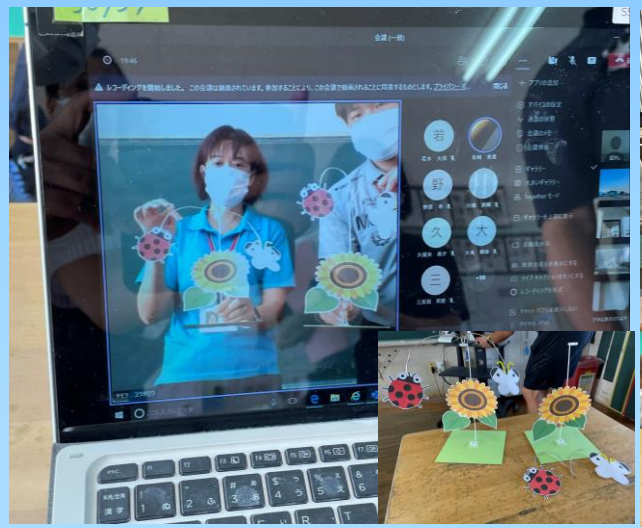


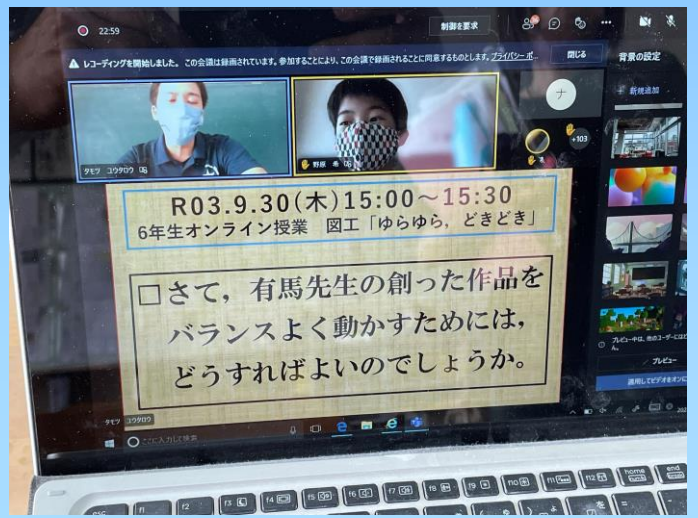


③9/30(木)6年生:109名対象、リアルタイム型 図工科の反転授業

単元名『ゆらゆら、どきどき』(Microsoft teamsのみ)

※【検証】技能教科におけるオンライン授業の有効活用法を検証





【教育の情報化】4年生ハイブリッド型のオンライン朝の会をしています

2022年02月14日

先週からコロナ関係で子どもたちが毎日40人前後欠席しています。
学校ではその対応策として担任が課題プリントを家に届けたり、4年生以上にはタブレット端末を届けてオンラインの朝の会や授業をハイブリッド型（対面授業とオンライン授業を同時に行うこと）で行っています。このような対応をすべての学級で行っています。4年1組の学級をのぞくと朝の会が始まっていて、学校を休んでいる子どもがオンラインで朝の会に参加していました。正にこれはハイブリット型オンライン朝の会です。
お陰様で保護者の御理解と御協力により、学校はこの1年で様々な「教育の情報化」に取り組んできました。その取組の成果がこのような形となって子どもたちの「学びの保障」に繋がっています。

Ａ　子どもたちの学びに直接的に有効な取組
④学習ソフト（ロイロノート）を活用した日常の授業

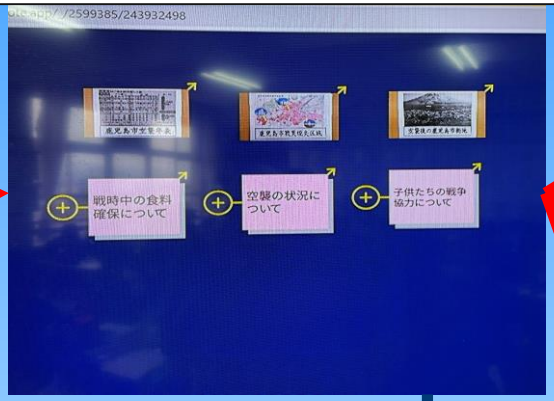
6年1組　社会科「長く続いた戦争と人々の暮らし」 1月27日

つかむ → 見通す → 調べる・考える

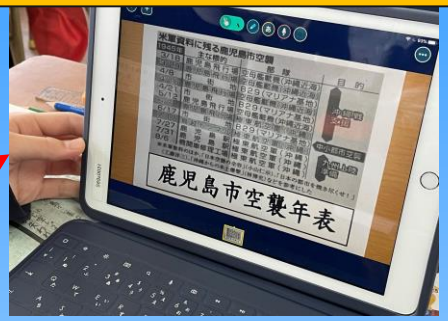
児童用タブレット端末へ配信されたデータ

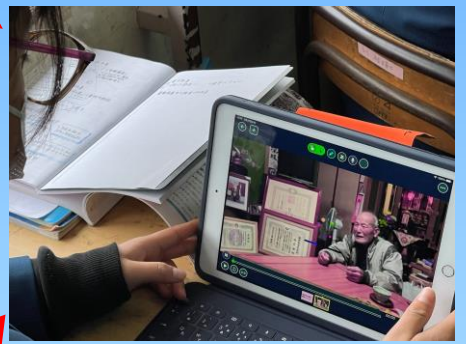
A1：教員による教材の提示

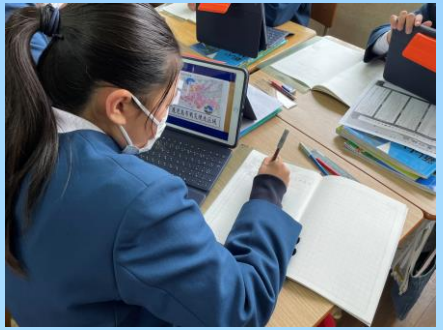
教師用タブレットから児童タブレットへ資料データをロイロで配信



B1：個に応じる学習







鹿児島空襲実物資料

◆つかむ→見通す→調べる　で活用

教師用タブレット端末から児童用タブレットへロイロノートで資料データを送信。めあて設定、調べる方法を見通して自分で調べたことをまとめる部分で活用した。今後は、個別学習で調べたことをタブレット内でまとめるか、ワークシートにまとめるか、その後の学習記録、評価との兼ね合いで検討する。

6年2組　国語科「筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう」

2022年02月03日

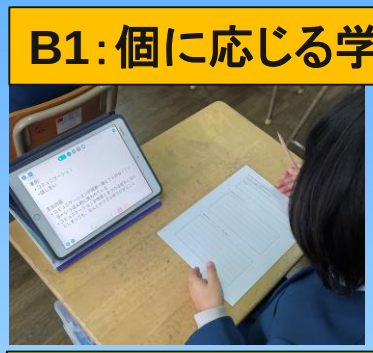
調べる・考える → **深める** → **まとめる**

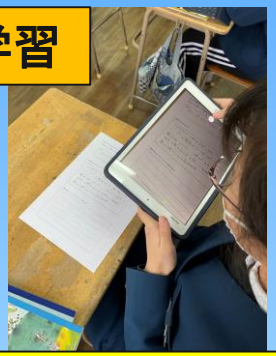
児童用タブレット端末から教師用タブレットへ考えたことを写真で配信

→ データをグループ内で共有し、グループとしての考えをまとめて、ホワイトボードに書く。

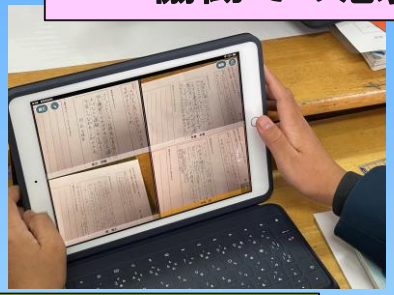
→ 各グループの考えを学級全体で共有し合い深める。

B1：個に応じる学習





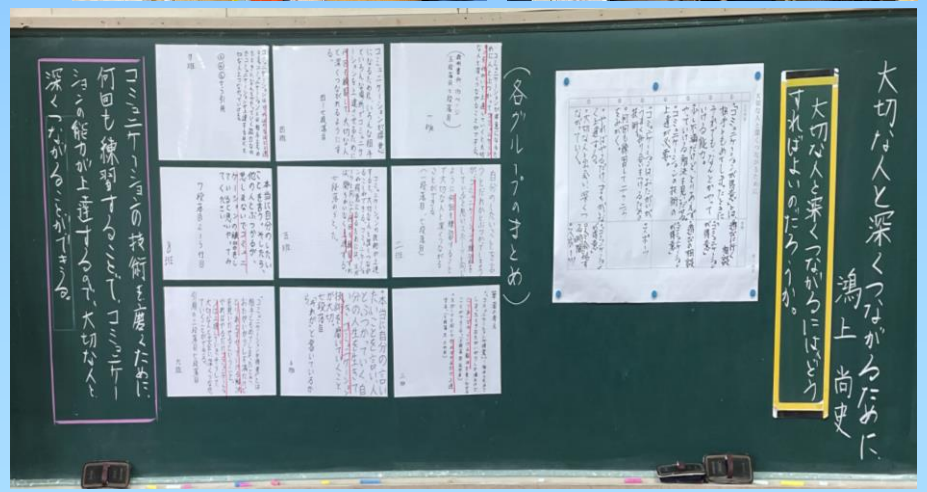
C2：協働での意見整理



C1：発表や話し合い

◆調べる→深める→まとめる　で活用

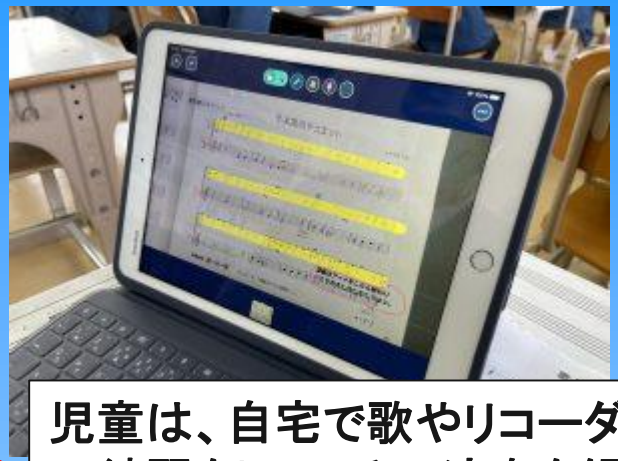
子ども一人一人の考えをワークシートに書き、書いたものをカメラで撮って教師用タブレットに送信。グループ内の考えを出し合ってグループの考えとしてホワイトボードに書いてまとめる。まとめたことを学級全体で発表し合う手順で深めていくことができた。アナログ・デジタルともにデータの記録・保存ができる。



【教育の情報化】コロナ禍における音楽科授業での工夫について

2022年02月18日

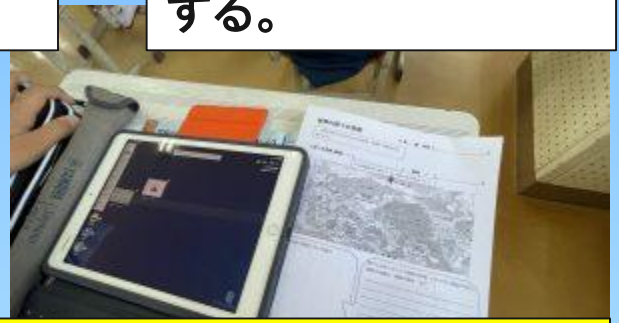
授業時間に教師は児童用タブレットに楽譜等データ（演奏のポイント付）を送信して課題を与える。



児童は、自宅で歌やリコーダーの練習をして、その演奏を録画して教師用のタブレット端末に演奏データを送信する。

教師は子どもたちから送られてきた演奏データを聞いて評価する。

子どもたちが自宅でリコーダーや歌の練習をして、演奏したものをタブレット端末の内蔵カメラで録画して、そのデータを先生のタブレット端末に送信するという取組です。



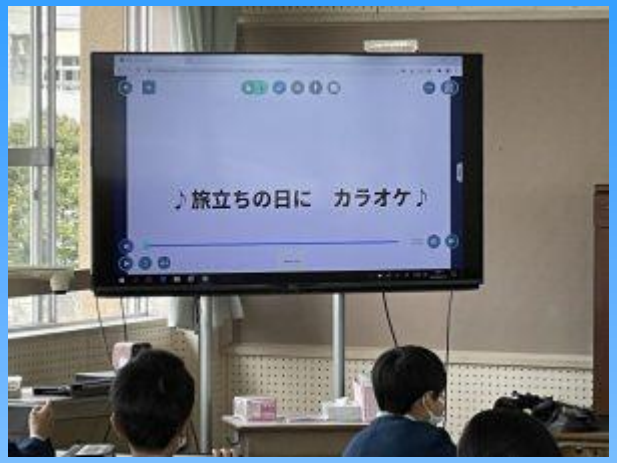
タブレット端末を使って世界の国々の音楽について調べる活動をしています。

【教育の情報化】3年生がタブレット端末を活用して取材をしています

2022年03月01日

3年生数名が校長室前の廊下に掲示された学校賞の賞状をタブレット端末で写真に撮っていました。子どもたちに話を聞くと総合的な学習の時間に学校のことを調べる活動をしているとのこと。タブレット端末に内蔵されたカメラで写真を撮って、学校のことを紹介するための記事を作ってみんなに紹介するそうです。

【教育の情報化】6年生がタブレットを持ち帰っての歌の練習をしています　2022年03月12日

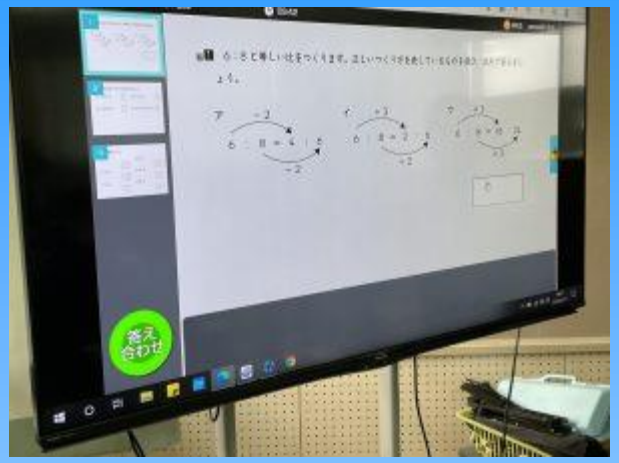


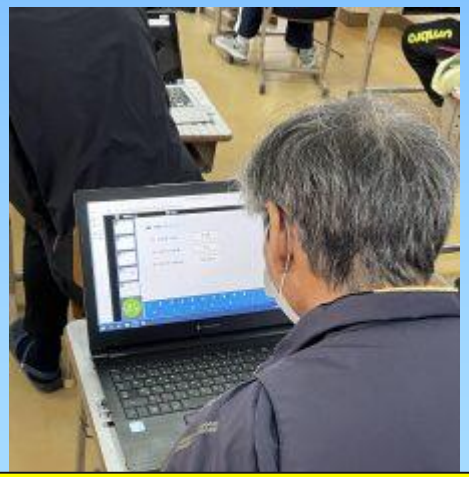
3月11日（金）音楽室では6年2組がタブレット端末の録音操作を確認しています。卒業式の最後に歌う予定の「旅立ちの日に」のピアノ伴奏カラオケに合わせて自分の歌声を録音するための操作方法を確認しています。

Ａ　子どもたちの学びに直接的に有効な取組
⑤デジタル教材（タブレットドリル）を活用した学力補充指導

【職員研修】デジタルドリルの実技研修を行いました。

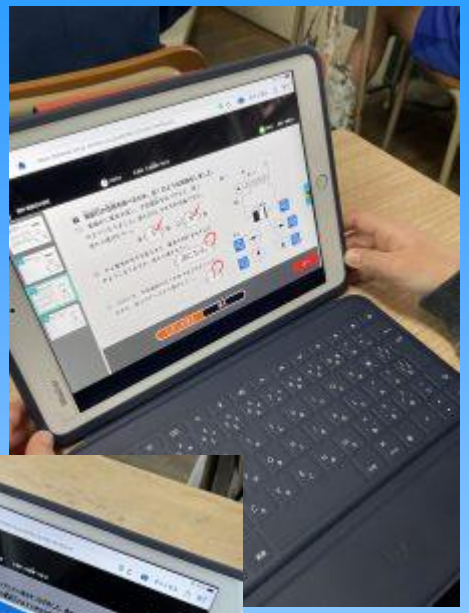
2022年01月19日





学校では令和4年度からの導入も含めてデジタルドリルの可能性を探りながら、アナログとデジタルの学習指導をどう融合させていくかを研究していきます。

【学力向上】デジタルドリルを活用した学力補充指導を行っています。　2022年02月09日

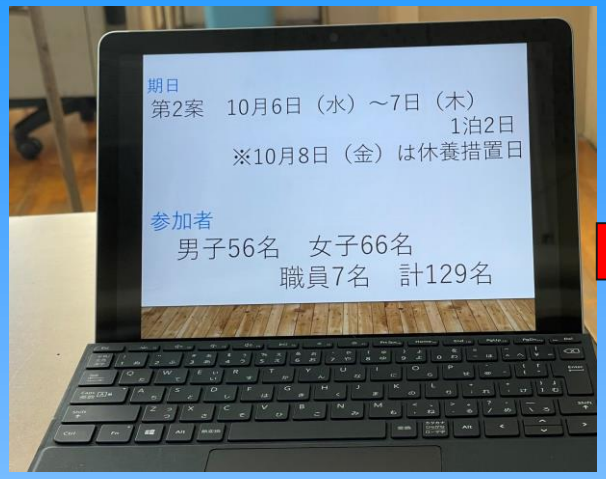


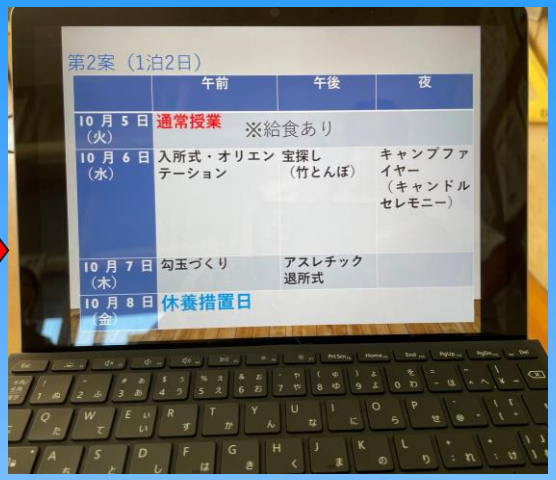
5年3組では「デジタルドリル」を活用しての学力補充指導が行われていました。現在、学校では「デジタルドリル」を試行的に活用する取組をしています。アナログ式ドリルとデジタルドリルのそれぞれの良さを検証しながら、どのようにアナログ学習とデジタル学習を融合させていくかについて研究しています。

B　学び以外の効率化を図るコミュニケーションツールとしての取組
①YouTubeオンライン配信

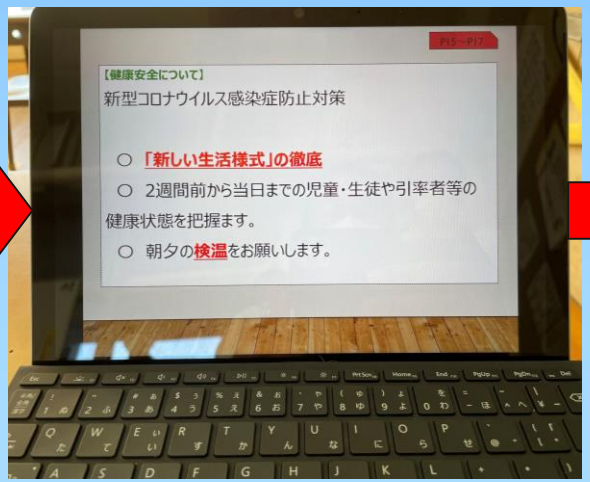
5年部（121名対象）オンディマンド型動画配信

学校行事：集団宿泊学習保護者説明会の動画配信　2021年09月22日





②´※説明動画（ppt＋音声録音）制作→安心安全メールでURLを案内→Youtubeで限定配信→<u>オンディマンド型で全保護者が視聴する。</u>



運動会予行練習でのYouTubeライブ配信テスト

2021年11月2日

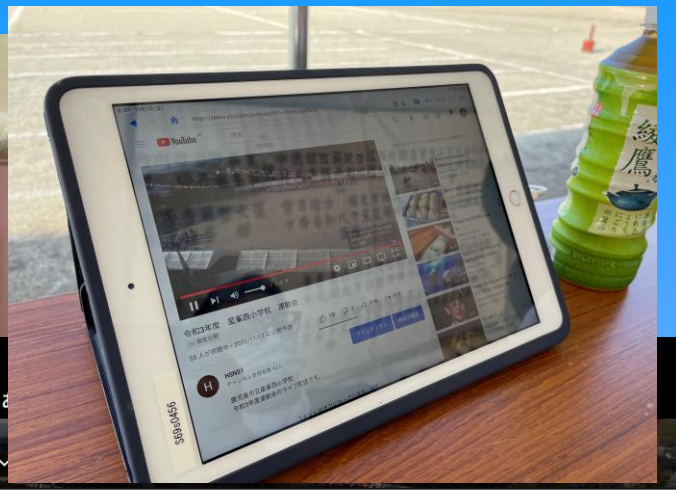
⑤11/2(火)学校行事：運動会予行練習でのYouTubeライブ配信試験

学校行事『運動会予行練習』 (タブレット端末内蔵カメラ＋YouTube)

※【検証】コロナ禍により感染拡大予防策として運動会への参加者を各家庭2名までに限定したため、多くの方々に運動会の様子を情報発信する手立てとしてYouTubeでのライブ配信を行う。

運動会当日のYouTubeライブ配信

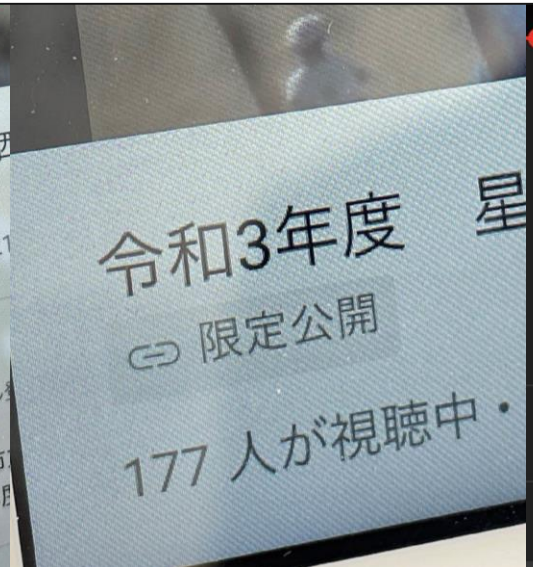
2021年11月7日



⑤11/7(日)学校行事：運動会でのYouTubeライブ配信

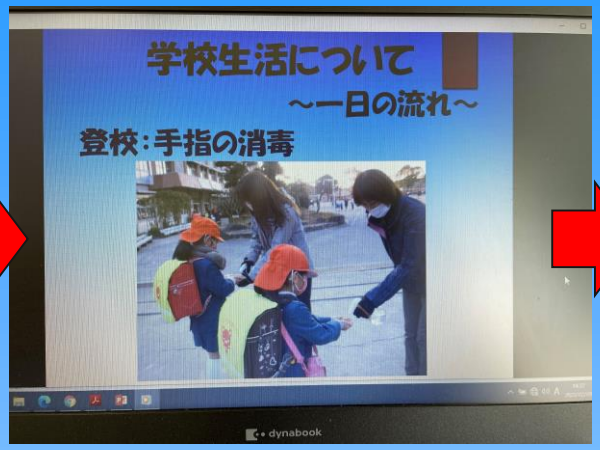
学校行事『運動会』 (タブレット端末内蔵カメラ＋YouTube)

※【検証】コロナ禍により感染拡大予防策として運動会への参加者を各家庭2名までに限定したため、多くの方々に運動会の様子を情報発信する手立てとしてYouTubeでのライブ配信を行う。

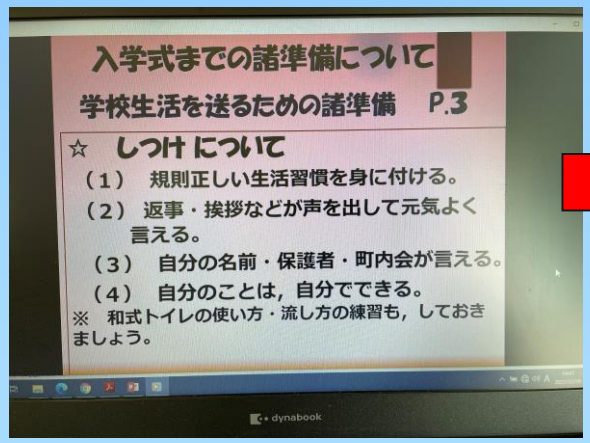


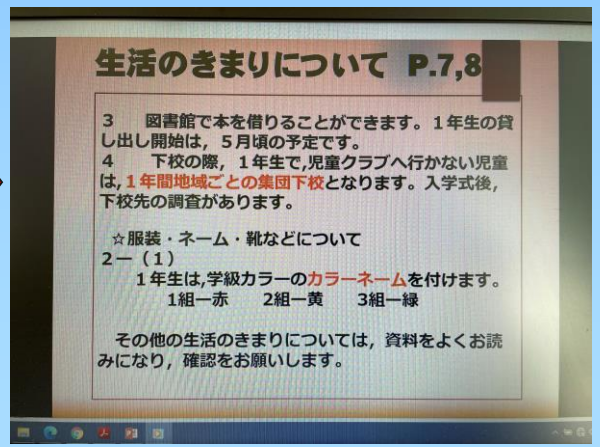
１年部（84名対象）オンディマンド型動画配信

学校行事：新1年生入学説明会の動画配信　　2022年02月09日



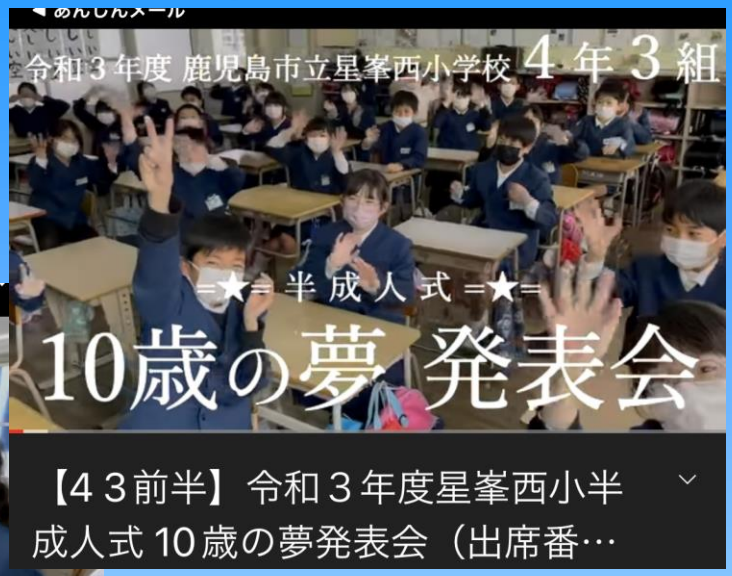
②´※説明動画（ppt＋音声録音）制作→安心安全メールでURLを案内→Youtubeで限定配信→<u>オンディマンド型で全保護者が視聴する。</u>





4年部　半成人式をYouTubeで限定配信

2022年03月08日



例年であれば2月の授業参観・学級PTAの際に4年生は半成人式を行っていましたが、今年度はまん延防止等重点措置期間中で授業参観・学級PTAが中止となってしまい、どうするか学年部で検討しておりましたが、最終的に子どもたち一人一人の夢の発表を撮影した「10歳の夢発表会」という半成人式の番組を制作してYoutubeで限定配信することに決定いたしました。

Ｂ　学び以外の効率化を図るコミュニケーションツールとしての取組
②学校だより等のペーパーレス化とネット配信

学校だより等のペーパーレス化とネット配信

【学校だより「希望の虹」10月号】

「家庭教育力アップ～そのひと手間を大切に～」

校長　谷口源太郎

毎朝７時半から８時15分まで養護教諭と一緒に正門に立って子どもたちと「あいさつ&手指消毒」を行っています。４月に本校に赴任したときからずっと続けているところです。

できるだけ名前を呼んであいさつをしたり、元気なあいさつができたことを褒めたりして声かけを行っています。子どもたちとの距離感をもっと縮めたいとの思いもあってのことです。遅刻してくる子どもには「校長先生は、あなたが来るのを待っていたよ」とか「来てくれてよかった。校長先生はうれしい。」とかその子に聞こえるようにつぶやいています。

子どもたちの中には、表情が暗かったり、疲れていたり、家庭で何か困ったことがあるのかなと思われる子どもたちも一部ですが見かけます。目を合わせないで学校に入っていく子、帽子をかぶらずシャツを出したままの子、とても眠たそうにして気力がなさそうな感じの子などもごく一部ですがいます。

大人にも共通していることですが、私たちの表情は「心の様子」を表していると言われます。子どもたちは、保護者からの愛情に包まれて、自分が愛されていると実感できると自然に心が穏やかになり、心が満たされて安定し、それが表情に現れてきます。

昨今、両親共働きの世帯が増えています。３年前の新聞記事ですが、2017年国民生活基礎調査では 70.8%の世帯が共働きの世帯という結果が出ていました。現在はもっとこの数値が増えているかもしれません。朝早くから夜遅くまで働いて家に帰ってゆっくりとくつろぎたいという思いは誰でもあります。そんなときに、「学校でどんなことがあったの？」、「先生の話をよく聞いてしっかり勉強をしている？」、「友だちと仲良く遊んでいる？」、そんなことを思いながら少しでも子どもに声をかけていただければありがたいです。子どもたちはきっと「親に見守られている」と感じることでしょう。

今年度８月から取り組み始めた家庭教育力アップ共通実践事項も早いもので２か月目に入ろうとしています。ノーメディアタイム、一家庭一家訓、あいさつ運動（家族、近所の方へ）、読書活動、早寝早起き朝ご飯の５つの実践事項についての取組をお願いしています。この２か月の取組を振り返ってみますとノーメディアタイムや一家庭一家訓とはどんな活動なのか、どのように取り組んでいけばよいのかを保護者の方々は迷われていることも多いかと思います。先日、お願いした学校評価項目の中にもこの５つの実践事項が含まれていました。取組の結果をご覧いただけたでしょうか？５つの実践事項の一つ一つは家庭教育で欠かすことができないことばかりです。

【2017年国民生活基礎調査の新聞記事】

【星峯西小学校　家庭教育力アップ共通実践事項】

【学校だより：希望の虹　11月号】

子どもたちをよりよく育てるためのカリキュラム（教育課程）編成について

校長　谷口　源太郎

秋もだいぶ深まってまいりましたが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。日頃から本校の教育活動に対する深い御理解と御協力に感謝申し上げます。

10月６・７日の５年生集団宿泊学習、11月７日の運動会、11月15・16日の６年生修学旅行はお陰様で全て実施に恵まれて計画どおりに開催することができました。現在、子どもたちは12月11日（土）に開催予定の校内持久走記録会に向けて朝のランニングに一生懸命取り組んでいます。

学校は、これらの学校行事を通じて子どもたちを一回りも二回りも大きく成長させたいという思いをもって取り組んでいます。学校はこの時期から来年度のカリキュラム（教育課程）編成に取り掛かります。カリキュラム（教育課程）とは、子どもたちをよりよく教え育てるための教育計画のことです。各学校行事を、どのような趣旨・目的で行うのか、どのような活動内容に取り組ませるのか、どのような方法を用いて教え育てていくかなどを、教科領域ごとに目標→内容→方法を具体的に計画立案していきます。それを定める際に根拠となる・基礎となるものが**現在の子どもたちの姿や実態**です。子どもたちの良いところは更に伸ばし、課題であるところは確実に改善する。そのための手立てをカリキュラム（教育課程）にしっかりと組み込んでいくことが重要となります。

さて、この2年間はコロナ禍により学校、PTA、地域の様々な行事・イベントが延期や中止になったり、開催してもコロナ対策をしっかりとして活動内容をいつもの半分にしたり、時間短縮をしたり、参加者の制限をしたりするなどして実施してきたところです。今年度に行われた各種行事の活動内容、開催方法等を振り返ってみると、**その行事で核となる、本当に必要な活動だけを残して行ったことが**分かると思います。

運動会を例に説明すると、各学年が行った種目は2種目。①かけっこ・短距離走などの「走る種目」と、②ダンス・踊りなどの「表現運動の種目」または学級対抗団体種目の計2種目です。6年生だけは最終学年ということで、短距離走、棒倒し、学級対抗リレー（団体種目）の3種目にしました。これが**体育学習で学んだことを発表する運動会での核となる部分**なのです。今年度も行えなかったPTA種目、敬老種目、来賓種目などは運動会の核になる種目に付け加えられた派生的な種目であることが分かると思います。スリム化された運動会に対する保護者の意見は様々です。「午前開催になったことで弁当を作らなくて良かった。」「6年生のPTA親子種目はさせたかった。」などの声が聞かれました。

学校としては、今後コロナ感染症が完全に収束した場合、３つの対応策があると考えています。

①案：すべての種目を完全に元に戻す。	→	終日開催	→ 弁当、各種種目の準備必要？
②案：今年度分に加えて一部だけ元に戻す。	→	変を加える	→ 弁当が必要？
③案：今年度のように午前開催を継続する。	→	午前中開催	→ 弁当なし下校

このことについては、今後、広くご意見を伺いながら取りまとめていきたいと思います。

「学校・家庭・地域が連携し、子ども一人一人に『生きる力』を育む星峯西小学校プラン」に取り組み始めて８か月が過ぎようとしています。これまでに子どもたちの健全育成に向けて様々な新たな取組を行っていますが、その成果が子どもたちの姿となって少しずつ表れてきています。今後、更によりよい教育活動ができるように学校は保護者や地域の方々に学校の基本的な考え方をしっかりとお伝えするとともに、保護者や地域の声に耳を傾けながらともに取組を進めていきたいと思います。

【来年度学校経営の重点課題】

【来年度はどんな年？見通し】

【学校だより「希望の虹」２月号】次年度の学校経営グランドデザイン（案）

校　長　　谷口源太郎

令和３年度も残り２か月になって参りました。日頃より本校教育活動に対する御理解と御協力に心より感謝申し上げます。

現在、学校では令和４年度教育課程編成作業を進めています。来年度はどのような学校経営方針に基づいて教育活動を行っていくのか、その具体的な実施計画の準備作業をしているところです。基本的には令和３年度の学校経営方針をベースに作ってあります。

学校と家庭と地域が一体となって子どもたちを健全に育てていくことを基本的な考え方にしています。そのために知徳体についてより効果的な教育活動が実践できるようにしてきます。

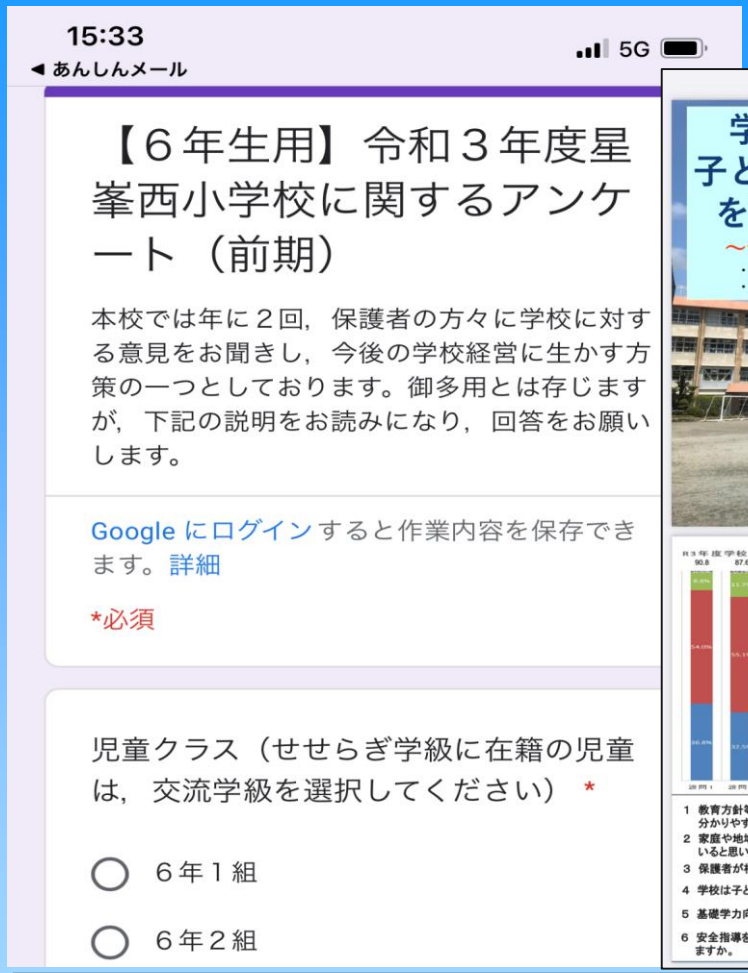
今年度の取組の成果と課題に基づきながら、教職員だけでなく、保護者や地域からいただいた学校評価等へのご意見も参考にしながら改善を図っていきます。現時点の原案を作りましたのでご覧ください。

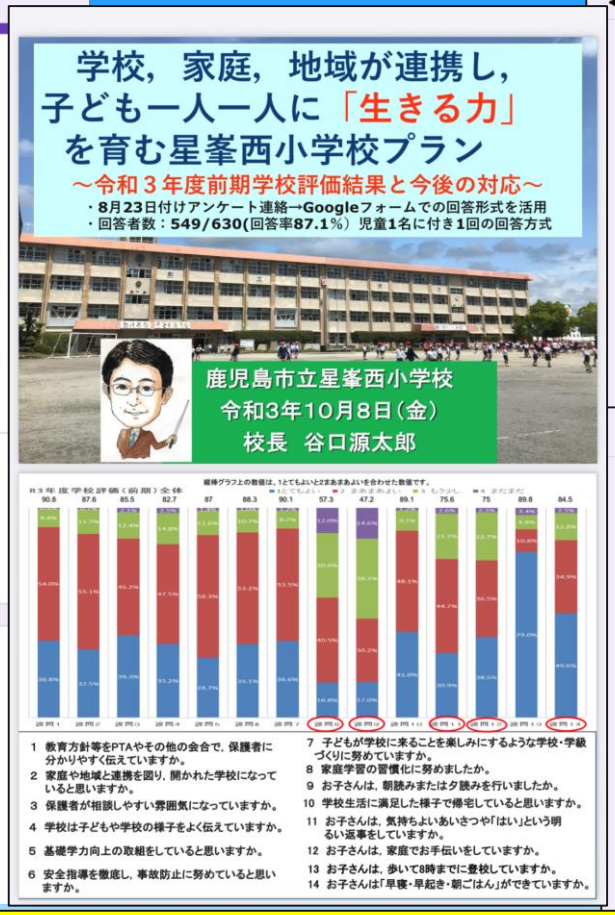
【学校経営グランドデザイン簡易版】

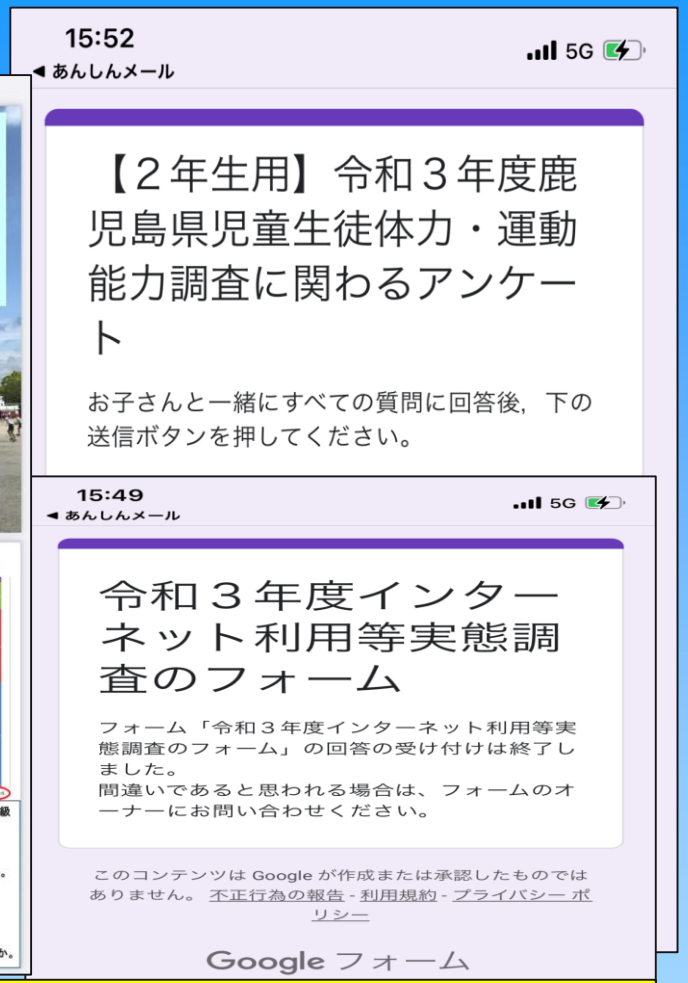
R3年度から安心安全メールの機能を活用して学校からの様々な情報（学校だより、PTAだより等）をペーパーレス化して各家庭に配信しています。また、保護者への学校評価アンケート、各種実態調査等についてもGoogleフォームを活用して配信し、自動集約をしています。そうすることで紙の経費削減、印刷・丁合、集計等の業務削減につながりました。保護者の手間が減るとともに、学校側の事務の効率化を図ることができました。

B　学び以外の効率化を図るコミュニケーションツールとしての取組
③Googleフォームを活用した各種アンケート調査

Googleフォームを活用した各種アンケート調査



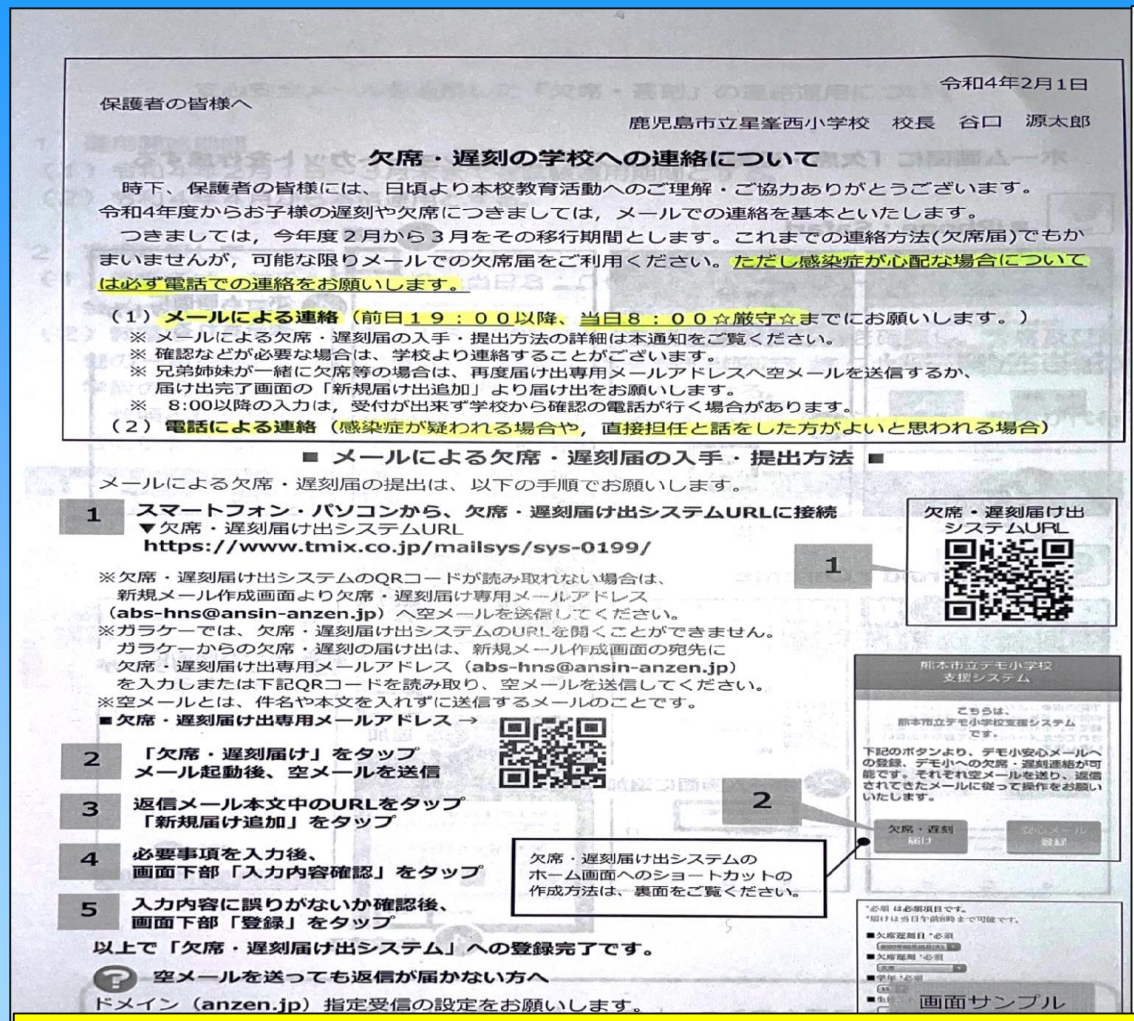




R3年度から安心安全メールの機能を活用して学校からの様々な情報（学校だより、PTAだより等）をペーパーレス化して各家庭に配信しています。また、保護者への学校評価アンケート、各種実態調査等についてもGoogleフォームを活用して配信し、自動集約をしています。そうすることで紙の経費削減、印刷・丁合、集計等の業務削減につながりました。保護者の手間が減るとともに、学校側の事務の効率化を図ることができました。

Ｂ　学び以外の効率化を図るコミュニケーションツールとしての取組
④デジタル通信システムを活用したメールでの欠席遅刻届

学校と家庭を結ぶデジタル通信システム（欠席・遅刻届）



令和4年2月1日

保護者の皆様へ

鹿児島市立星峯西小学校　校長　谷口　源太郎

欠席・遅刻の学校への連絡について

時下、保護者の皆様には、日頃より本校教育活動へのご理解・ご協力ありがとうございます。
令和4年度からお子様の遅刻や欠席につきましては，メールでの連絡を基本といたします。
つきましては，今年度２月から３月をその移行期間とします。これまでの連絡方法(欠席届)でもかまいませんが，可能な限りメールでの欠席届をご利用ください。ただし感染症が心配な場合については必ず電話での連絡をお願いします。

（１）**メールによる連絡**（前日１９：００以降、当日８：００☆厳守☆までにお願いします。）
※ メールによる欠席・遅刻届の入手・提出方法の詳細は本通知をご覧ください。
※ 確認などが必要な場合は、学校より連絡することがございます。
※ 兄弟姉妹が一緒に欠席等の場合は、再度届け出専用メールアドレスへ空メールを送信するか、届け出完了画面の「新規届け出追加」より届け出をお願いします。
※　8:00以降の入力は，受付が出来ず学校から確認の電話が行く場合があります。
（２）**電話による連絡**（感染症が疑われる場合や，直接担任と話をした方がよいと思われる場合）

■ メールによる欠席・遅刻届の入手・提出方法 ■

メールによる欠席・遅刻届の提出は、以下の手順でお願いします。

1 **スマートフォン・パソコンから、欠席・遅刻届け出システムURLに接続**
▼欠席・遅刻届け出システムURL
https://www.tmix.co.jp/mailsys/sys-0199/

※欠席・遅刻届け出システムのQRコードが読み取れない場合は、新規メール作成画面より欠席・遅刻届け専用メールアドレス（abs-hns@ansin-anzen.jp）へ空メールを送信してください。
※ガラケーでは、欠席・遅刻届け出システムのURLを開くことができません。ガラケーからの欠席・遅刻の届け出は、新規メール作成画面の宛先に欠席・遅刻届け出専用メールアドレス（abs-hns@ansin-anzen.jp）を入力しまたは下記QRコードを読み取り、空メールを送信してください。
※空メールとは、件名や本文を入れずに送信するメールのことです。
■欠席・遅刻届け出専用メールアドレス →

欠席・遅刻届け出システムURL

1

2 **「欠席・遅刻届け」をタップ**
メール起動後、空メールを送信

3 **返信メール本文中のURLをタップ**
「新規届け追加」をタップ

4 **必要事項を入力後、**
画面下部「入力内容確認」をタップ

5 **入力内容に誤りがないか確認後、**
画面下部「登録」をタップ

熊本市立デモ小学校
支援システム

こちらは、
熊本市立デモ小学校支援システム
です。

下記のボタンより、デモ小安心メールへの登録、デモ小への欠席・遅刻連絡が可能です。それぞれ空メールを送り、返信されてきたメールに従って操作をお願いいたします。

欠席・遅刻届け

2

欠席・遅刻届け出システムのホーム画面へのショートカットの作成方法は、裏面をご覧ください。

以上で「欠席・遅刻届け出システム」への登録完了です。

空メールを送っても返信が届かない方へ
ドメイン（anzen.jp）指定受信の設定をお願いします。

画面サンプル

*必須 は必須項目です。
*届けは当日午前8時まで可能です。

■欠席遅刻日 *必須
2022年01月28日(金)

■欠席・遅刻 *必須
欠席

■学年組 *必須
1年1組

■児童氏名 *必須

■欠席遅刻理由 *必須
かぜ

■備考欄

■届け出者氏名 *必須

連絡先電話番号 *必須

R4年2月1日から試験的に運用開始。感染症が疑われる場合や担任に直接相談したいことは電話による連絡をする。それ以外の欠席・遅刻届については、この安心安全メールの届け出システムに登録して学校に連絡をする。保護者の手間が減る、学校側は朝の時間帯の電話連絡の件数が減ることに繋がり、事務の効率化を図ることができる。

今年度の取組についての成果と課題

A　子どもの学びに直接的に有効な取組

○　GIGAスクール構想で配備された一人1台のタブレット型端末（Teams、ロイロノート、デジタルドリルなどのソフト等）を学校行事、授業、補充指導等に積極的に活用して双方向型のICT教育を行うことができた。

B　学び以外の効率化を図る取組

○　学校と家庭をつなぐデジタル通信システムについてこの１年間で4つの取組を実現することができた。この取組によって学校と家庭間の連絡事務の効率化、簡素化を図ることができた。

※　EdTech（エドテック）は、AとBの２つの側面から推進していくことが重要

　現在、日本の社会は、すべての業界でDX（デジタル・トランスフォーメーション：デジタル化して業界全体を変革していくこと）を進めていこうとしている。教育界のDXの動きを見据えながら私たち大人（教職員も保護者）もICTリテラシー（より専門的な「知識」「応用力」「活用能力」）を高めながら子どもたちにかかわっていくことが必要である。

終